

かがやく女性

特別
講演

一人ひとりが主人公！
女性のさらなる
活躍に向けて

上川

陽子 前内閣府特命担当大臣
(少子化対策・男女共同参画)



現在わが国で

は、急速に少子化が進みこのまま推移すると50年後には、人

口は9千万人を切ると想定されています。そこで政府は、若者、女性、高齢者をふくめ就業の着実な推進や男性の育児参加を促進するための職場の意識改革、環境整備の取り組みを打ち出しました。国の男女共同参画推進本部が決定した「女性の参画加速プログラム」には、

◎各界トップ、管理職、女性自身それぞれの意識改革

◎女性の能力開発・発揮に対する支援
◎仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）への取り組み推進

の3点が施策の基本的方向として示されています。

福井県の女性は、就業率など日本で一位を占めるほど非常に活躍しています。しかし、指導的立場への進出が少ない。どうか、これからは一人ひとりが自分の問題として考え、輝く新しい社会を創っていきましょう。

男女共同参画月間記念行事

ふくいきらめき フェスティバル 2008

取り上げたのは、

食育、
政策決定、
高齢者福祉 etc

開催日：6月21日(土)・22日(日)

会場：福井県生活学習館（ユニー・アイ ふくい）

テーマ：みんなが主役！女と男との和～輪～環

多目的ホールでの3種類の講演をはじめ、ディスカッション、体験講座、展示、ファミリー企画や上映会など企画満載の二日間に多くの人々が集いました。

TRY
&
リフレッシュ



夏を歌おう



ネイチャークラブ教室



スズパで楽しくストレス発散



色鉛筆で描こう



フラワーアレンジメント教室

題字
福井県知事 西川一誠
第25号

発行者
(財)ふくい女性財団

基調
講演

笑いの中で
元氣と勇気をくれました

落語家

露の都氏



「チャンチャカ、チャンチャカ…」
出囃子と共に現れましたのは、着物をきりりと着こなして、扇子手拭いを手にした露の都さん。その話は…

大阪生まれで四人の弟妹の長女、中学生です。すでに家事はすべてこなしていました。高校卒業後、露の五郎師匠を何度も訪ねて弟子入りを頼みます。やっと師匠に弟子入りを許され、修業に入りました。内弟子時代、厳しく教えられますが、「捨て目、捨て耳をきかす」ことを教えられました。何でもよく見よく聞き、アンテナをはって観察しなさいということ。芸は口うつしという方法で習っていました。そして女性初の噺家となりました。

これからは、男社会といわれた落語界で女の噺家が成功したといわれるよう頑張っていきたいと思っています。

「一生懸命やっておけば、何でも役に立つ」「思春期の子育ては、言葉はかけないが目は離さない」など、参加者の心に残る言葉が大好評でした。何といっても講演全体が落語のようで、笑って、笑って。

健康講座

今日から始めよう

メタボ予防、がん予防

あなたと家族のために

(*福井健康福祉センターと共催)

講師 県民健康センター所長

松田 一夫氏

メタボとがん予防のポイントとは、「禁煙、運動、肥満解消、健診・がん検診を受ける」の4つです。タバコは、がん原因の三分の一を占めているので禁煙すべきです。運動は、長く続けることができるウォーキングや階段の利用、それにスクワットをすることをお奨めします。福井県は、乗用車の利用が多く運動量が少ないため糖尿病が多くなっているのです。できるだけ歩くようにして下さい。肥満判断の一つの目安は、学生時代のズボンがはけるかどうかです。現在、福井県内では年間二四〇〇人ががんで亡くなっており、実に死亡原因の3割を占めます。男性では肺がん、大腸がん、女性では大腸がん、乳がんが増えています。死亡の危険が減る健診・がん検診、特に大腸がんの検診や乳がん発見の決め手となるマンモグラフィーは必ず受けて下さい。

歯切れが良く、分かりやすい講演は大好評でした。

▼笑いのうちに健康講座に
繋いだ「さんさんdeねっ」の寸劇



ふくいきらめきフェスティバル 2008

ワーク・ライフ・バランス

●ミニ講演

元新聞記者の館野智子氏の講演では、親や夫の協力で激務を乗り切られた話に圧倒され、長い人生の中でのワーク・ライフ・バランスの実践を話されました。

●フォーラム

「ふくい女性活躍支援企業」の事例を交えながらワーク・ライフ・バランスの実践について意見を述べあい、交流しました。



地球温暖化防止

●「知って実践、温暖化防止への取り組み」

講師：国立環境研究所研究員 久保田 泉氏

本県出身の若手女性研究員が国際舞台で活躍しています。最先端の情報を盛り込んだ講演に参加者も満足。体験発表には質問が多数出て、関心の高さが伺えました。

●無料上映会

「不都合な真実」

「私の小さな生活の一步が、地球にもつながっていくと思って、もう一度考えてみます」(アンケートから)

ふくい女性のつどい実行委員会

「ふくいきらめきフェスティバル」は、ふくい女性財団理事長が実行委員長となり、加盟49団体(総務委員会)と、公募の企画委員14名(企画委員会)とが実行委員会を組織して開催しています。企画・広報・運営・参加と、皆さんの力が結集しての大会です。

☆公募による企画委員☆

企画立案、出演交渉、PR活動、運営と、幅広い年代層の企画委員が、和気あいあいと一致団結!

★12月には、来年の企画委員の公募を始める予定です。ぜひ、ご応募ください!



テレビPRに出演した企画委員さん

☆アンケートを見ると...☆

- 「大変良かった」「これまでの活動がムダではなかったと思えた」と好評。(上川陽子前大臣の特別講演)
- 上川前大臣の「女性原議」に奮起せよ」との発言に「全ての分野で男女共同参画を頑張ろう」という力強い回答あり。
- 断家らしい人を引き付ける楽しい露の都氏の講演であった。
- 人生の体験談を交え、聴くものに勇気を与えてくれた。特に子育てについては共感。(露の都氏)
- アトラクション(ヨサコイ演舞)も良かった。
- ペーパーでの資料がほしかった。

etc. etc. 他にもこんな企画!

- ★ファミリー企画「心育むおはなしの世界」
群読やストーリーテリング、パネルシアターを親子で楽しむ企画
- ★Try&リフレッシュ(越前くらし料理、スクラップブック)
- ★わが町自慢コーナー・ふれ愛バザー
- ★展示(活動展・環境展・文化展)
- ★Message To You
- ★似顔絵&バルーンプレゼント
- ★ヨサコイ演舞

2日目には
いつも以上の
親子連れが来場

▶初めての試み「プレゼントコーナー」



就任あいさつ

副理事長 重久博子

このたび副理事長に就任し、与えられた使命と責任の大きさに身の引き締まる思いでいっぱいです。未熟者で浅学の身ではありますが、水上理事長、田中副理事長と協力し、女性財団の発展やよりよい地域社会づくりに努力してまいりたいと思います。関係各位、諸先輩方、ご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

副理事長 田中千恵子

今から十数年前、女性の地位向上・社会参画の必要性を痛感された当時の役員諸氏は、大変な苦労と努力の末、県生活学習館建設や女性財団の設立を果たされました。その熱い心を大切に、皆様と手を携え、微力ながら一生懸命努めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

功労者知事表彰

おめでとうございます！

男女共同参画社会づくり

【個人】

青木 武子（福井市）

久保 陽子（勝山市）

坪田 榮美子（坂井市）

森田 勝子（敦賀市）

（五十音順・敬称略）

【団体】

あわら市男女共同

参画ネットワーク

財団法人ふくい女性財団 役員および評議員名簿（※網掛けは新役員）		
理事長	水上 幸 衛	福井県漁協女性部連合協議会長
副理事長	重久 博 子	福井県食生活改善推進員連絡協議会長
	田中 千恵子	さばえ男女共同参画ネットワーク会長
専務理事	中西 雅 夫	ふくい女性財団事務局長
理 事	大 沢 博	福井県総務部長
	定 池 りゆ子	福井県生活学習館長
	朝 倉 八千代	（社）ガールスカウト日本連盟 前福井県支部長
	安 川 悦 子	ふくいソフィアの会長
	高 嶋 和 子	連合福井女性委員会副委員長
	稲 葉 理英子	小浜女性ネットワーク会長
	小 寺 恵美子	勝山市男女共同ネットワーク会長
	森 瀬 則 昭	さかい男女共同参画ネットワーク会長
	堀 江 俊 子	永平寺女性ネットワーク会長
	窪 田 春 美	南越前町男女ネットワーク会長
監 事	山 口 のぶ子	みはま女性ネットワーク会長
	三 輪 隆 三	福泉信用組合専務理事
	辻 千 恵	元ふくい女性財団副理事長
評議員（五十音順）		
	天 谷 祥 子	福井商工会議所女性会長（天谷学園理事長）
	荒 井 紀 子	福井大学教育地域科学部教授
	梅 田 幸 重	（財）福井県文化振興事業団専務理事
	加 藤 澄 子	学識経験者
	四 戸 友 也	福井新聞社 論説主幹・特別編集委員兼論説委員長
	大 正 光 子	（学）大正学園理事長
	宮 越 洋 二	産婦人科宮越女性クリニック院長
	和 田 秀 美	福井労働局雇用均等室長
常任企画運営委員		
委員長	天 野 寿美恵	国際交流はぎの会長
副委員長	太木下 美智子	あわら市男女共同参画ネットワーク会長
委 員	米村美智子、	稲田榮美子、 岩永登代子、 寺島美根子、
	櫻尾智恵子、	勝澤 柳子、 畑岡 久子、 吉田多輝子、
	宮田 和夫、	勢馬千恵子

平成20年度 ふくい女性財団年間事業

各種講座・研修

● ネットワークリーダー研修会

● 県内7地区で順次開催（7月～）

● 男女共同参画セミナー

● 福井県議会傍聴（9月24日）

● 健康講座

● （さらめきフェスティバルで実施済み）

その他

● 機関紙発行事業

● 女性団体活動支援事業

● 育児等と仕事の両立支援事業

● ファミリーサービスクラブ事業

● 緊急サポートネットワーク事業

● 女性のつどい事業（実施済み）

● チャイルドルーム運営事業

● 男女共同参画ポータルサイト運用事業

● 配偶者暴力（DV）被害者自立支援事業

ふくい女性塾

9月27日（土）開講！

テーマ「災害発生！その時どうする？」

《全6回 受講料3,000円、定員30人》

災害とは一体何で、起こってしまったらどうすればよい？ 防ぐには？ まちづくりにはどう活かす？ などを学びましょう！

公開講座

■ 10月25日（土）午後1時～3時

■ ユー・アイふくい101学習室

■ 「なぜ起こる？ 気象災害」

福井の気象を知り災害に備えよう！

講師（財）日本気象協会福井事業所長

気象予報士 板橋陽介氏

他ネットの情報キャッチ&交流

【市町ネットワーク情報交換会

（8月1日、学習館にて）

はじめに定池りゆ子館長より、「地域における男女共同参画の今後のあり方」として、①知識習得や意識啓発、②課題解決型の実践的活動、それぞれの取り組みについての説明がありました。

続いて、各ネットワークより活動状況や事業計画、問題点などを報告しあい、それらをもとに質問や情報交換が活発に行われました。

近年、名称に「男女共同参画」を冠するネットワークが増え、今回は男性2人の参加もありました。情報交換会を終え、男女共同参画社会実現への取り組みの大切さを、強く感じました。

福井県女性人材リストにご登録下さい！

ふくい女性財団では、県から委託を受け、女性の人材発掘・活用に関する事業を行っています。

▶ 人材リストに登録

「女性人材リスト個人票」に活動分野など必要事項を記入し、ふくい女性財団に提出。

▶ 人材情報の提供

行政機関や企業、各種団体からの照会に応じて、委員、講師、アドバイザー等にふさわしい女性人材情報を提供。

* 詳細は、福井県男女参画・県民活動課のホームページに掲載中。

いま活躍していきます

福井県民生活協同組合

理事長 藤川 武夫

福井県民生活協では、次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定・届出し当該計画の目標を達成したところなど、一定の基準を満たした企業として認定されています（平成20年6月現在 全国で545企業が認定）。



※このマークは、次世代法第13条に基づき、認定を受けた企業だけが広告等に使用できるものです。

行動計画取り組み状況として、
① 男性の育児休業取得実績1名
女性の育児休業取得率100%
② 一時預かり施設を利用した職員に
対して一部費用負担の制度を導入
③ 託児施設併設店舗を1店舗増設
（全部で5施設）
④ 新任管理者研修、新人研修において
自社の行動計画の内容および進捗
状況について説明
⑤ ノー残業月間および最終退社時間
を設定し、全店舗を回り周知
などがあげられます。これからも、男
女ともに働き続けやすいよう、子育て
支援に積極的に取り組んでいきます。

ふくいの生活と婦人問題研究会

会長 辻 きぬ

福井大学と連携し若い人材の育成支援

本会は一九七五年に発足。国際婦人年・国連婦人の10年の趣旨に沿って、暮らしの中で婦人問題の調査研究、女性の地位向上と男女共同参画社会の実現を目指しています。10年前から特に力を入れているのが、福井大学と連携し、若い人材の育成支援活動です。

福井大学教育地域科学部には、学校教育課程の他に地域科学課程が創設され、地域課題を多様な視点で学ぶため1週間の「地域実習科目」が設けられました。地域実習科目は、県内機関・団体・地域が受け入れています。県内でも10年前から合計40名の男女学生を受け入れています。あわら市の通年農業農家や美山そば加工研究会で、そば加工や赤かぶら漬、越前和紙漉き体験などを通して実践的に学んでもらいます。

毎年度末には、地域実習を实践した学生、大学側、そして受け入れた機関・団体・地域のメンバーが一堂に集まり、実践報告総括集会があります。若い学生の新鮮な意見や、大学研究者の深い目とともに学びあう素晴らしい場です。



▲ 焼き畑農法で赤かぶらの生産体験をする女子学生（美山河内）

平成19年度
からの事業

配偶者暴力(DV)被害者自立支援事業

配偶者の暴力被害を受けている方に対し、配偶者暴力被害者支援センターと連携の上、自立のための緊急経済支援を行っており、当事者や支援センターから感謝の言葉が寄せられています。DVの根絶はもちろん、DV被害者に対する多くの方々の理解と支援の輪が広がることを願っています。

※国際ゾナ福井ゾナクラブから寄せられた浄財をもとに創設した事業です。

※県でも、一時保護を受けているDV被害者に対する必要経費等の支給を実施しています。要件等の違いにあわせ、両事業が利用できるようになっています。

編集後記

真夏の最中、本号の編集を続けているとき内閣改造が発表され、上川陽子氏が大臣を辞されました。

6月に行なわれた特別講演には多くの方が参加し、その講演内容に意を強くしました。大臣の職を辞されても、これまで以上に地域社会発展のためご尽力くださるようお願い申し上げ、編集後記にかえさせていただきます。

発行者

(財)ふくい女性財団

〒918-8135 福井市下六条町14-1
福井県生活学習館(ユー・アイ ふくい)2階
TEL:0776-41-4254 FAX:0776-41-4260
E-mail:fujho-zai@cnr.ne.jp URL:http://www.f-jhosei.or.jp

仕事と育児の両立を応援!!

ふくい緊急サポートネットワーク事業
(厚生労働省から女性財団が受託)

◆◆◆ 会員募集中(登録は無料) ◆◆◆

利用会員

働く保護者

支援スタッフ会員

※研修会受講が必要※
子育て経験者
保育士や看護師など

◆◆◆ ファミリーサービスクラブが実施 ◆◆◆

(福井・鯖江・越前・勝山・敦賀・小浜)

- 急な残業や子どもの病気など緊急時に対応!
- 会員宅でお子様をお預かりします。
- 料金 700~900円/1時間(交通費別途)
- ファミリーサービスクラブは、この他にもすみずみ子育てサポート事業など子育て支援に積極的に取り組んでいます。

● 詳しくは、ふくい女性財団まで

Tel 0776-41-4234 (緊急サポート専用)